

主な被災箇所と応急対応

国道56号 [宇和島市]

被災沿線地域の方々の声

スーパー マーケット 吉田店



- 災害が発生した7月7日(土)は、従業員も出社できないので1日閉店したが、翌日から営業を再開した。
- 国道56号が通行止めであったため、全てのトラックが、**高速道路(松山道)経由で、宇和島市内まで行った後、国道56号を北上してくるルートだった。**
- 住民の方は、災害により町外へと自由に動けず、また断水もしているため、**飲食物を購入できる当店は、吉田町のライフラインの役割を担い、営業再開を大変喜ばれた。**
- 今回は松山道が早々に開通したので、店も再開できたが、**国道56号しかなく、長期間通行止めが発生していたら、在庫もすぐに無くなり、営業継続ができなかっただろう。**

コンビニエンス ストア 北宇和吉田店



- 災害が発生した7月7日(土)も営業は続けた。停電も発生しレジが使えない状況だったが、なんとか営業を続けた。
- 7月8日(日)の夕方ようやく商品を載せたトラックが届くようになった。この時点で、米飯関係も届いた。平常時、米飯関係は売れ残りが発生するが、断水の影響もあり、すぐに売り切れた。
- トラックは、高速道路で宇和島市街にたあと、吉田町までくるルートだった。**国道56号しかなかったら、営業継続はできなかっただろう。**
- 地域内にいたので、今回災害のすごさは、しばらく分からなかったが、**今思うと、よく1日で高速道路が開通してきた、早かったなと思った。**

バス事業者



- 宇和島～大阪、松山間を結ぶ高速バスは、通行規制区間の代わりに松山自動車道を走行し運行を再開した。運行再開時、**高速バスが通れる迂回路は松山自動車道以外はどこも通行止めになっていたため、松山道がなければ運行が再開できなかった。**



西予宇和IC

E56松山自動車道を利用する高速バス

宇和島地区 広域事務組合 消防本部



- 当初はヘリなどで透析患者などを宇和島市民病院に搬送した。
- 吉田地区は、冠水、法面崩壊などで現場に行けても帰られない、いっても数時間かかるなど本当に大変だった。
- **高規格道路、宇和島道路のおかげで松山方面(松山市、八幡浜、東予地区、香川県)から応援が来た。**
- **高速道路がなければ、資材、応援などがこないで物理的に復旧は出来なかった。**
- また今回のことを考えると、**高速道路がなかったとすると正直ぞっとする。8の字ネットワークの整備を早めてほしい。**

愛南 漁業協同組合



- 漁協では災害発生が予想されたため、7月6日(金)から出荷をとりやめ、災害による魚への影響を把握・確認するため、7月10日(火)まで、出荷をストップした。
- 7月11日(水)から出荷を再開した。**高速道路が無かったら、国道56号が開通する7月16日(月)まで出荷できず、道路の開通を待つしかない状況だっただろう。**

道の駅 「津島やすらぎ の里」



- この道の駅にくる、多くの方が入浴目的である。7月7日(土)は、通常くる宇和島市街から人が来ず、愛南町方面からのお客さんが大半だった。そのため、通常の半分程度だった。
- 国道56号は通行止めであったが、**高速道路がつながっているため、7月10日から断水している三間、吉田の2地区の方を対象に無料入浴いただくようにしたので、1,000人を越える来客があった。**
- **高速道路が使えたこともあり、復旧作業に従事される自衛隊の方の災害支援部隊駐留拠点となっている。**